

おたねん社会

おたねん社会



昌南町社会福祉協議会 広報

Ohnan Council of Social Welfare

vol.184

2022.1.7
January

目次

- ・新年のご挨拶 2
- ・島根県民いきいき活動奨励賞、おせち料理について 3
- ・第16回昌南町総合社会福祉大会について 4
- ・コミュニケーション・ボイスについて 5
- ・ボランティアの目について 6
- ・権利擁護支援員フォローアップ研修について 7
- ・除雪対策について 8
- ・セクター紹介 (本部) 9
- ・寄付金のお礼、絵手紙紹介 10

地域福祉課題解決演習

in 銭宝地区



11月26日 (金) 福山平成大学福祉学科より社会福祉士の資格取得を目指す2. 3年生7名を地域福祉課題解決演習として受け入れました。銭宝地区の銭宝の寄り合い処にて品川さんから地域で取り組んでおられる活動のお話をさせていただきました。学生からは活発な意見が飛び交い、実際に見て学ぶことや活動者の生の声を聴いて感じるものが多くあったのではないかと思います。



新年のご挨拶

社会福祉法人邑南町社会福祉協議会

会長 日野原 哲夫

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい令和四年の初春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症が流行する中、東京オリンピックやパラリンピックが開催され、厳しい感染対策で観客数も制限された中で行われましたが、日本選手団の活躍でこれまでにない多くのメダルを獲得されました。

また、新しいオミクロン株が世界各地で発生し第六波が心配されていますが、一日も早い終息を願い平和な年であることを願うところでございます。

さて、地域福祉をめぐる情勢は非常に厳しくなっています。

国の予算も厳しく、少子高齢化・人口減少が進む中、私たちの生活に大きな影響をもたらしてくるのではと思います。

こうした中、今後地域福祉に求められるものは、ますます複雑多様化していくものと思われまます。

邑南町社会福祉協議会では、地域社会において民間の自主的な福祉活動の中核となり、生活困窮者自立支援制度における生活困窮者支援を通じた地域づくりや就労支援、各種の相談事業や福祉活動を通じての福祉教育の推進、介護保険事業や障がい者福祉サービス事業の充実等、町民の皆様が安心して生活ができるようにするために、地域住民はもとより、関係機関・団体と協働して地域福祉を担っていく調整力・行動力がこれまで以上に求められていると思います。

そのためには、町行政をはじめ、各地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、町内社会福祉法人や医療法人、老人クラブ連合会等、地域福祉を推進する団体と連携を密に、課題を共有し、町民の皆様のニーズに応えていくことこそ使命だと思います。

住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせる安らぎのある地域づくり、ふる里づくりを目標に、私たち社会福祉協議会は、役員一丸となって取り組んで参る所存でございます。

町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和3年度

島根県立石見養護学校

島根県県民いきいき活動奨励賞(ユース部門)受賞

島根県において、営利を目的とせず自発的に行われる活動を「県民いきいき活動」と定義し、その活動に取り組む団体を「県民いきいき活動団体」と称し、活動が継続的で円滑に推進できる環境づくりを行う中、地域社会への貢献度の高い活動団体に「県民いきいき活動奨励賞」を送られています。



12月24日(金)に島根県庁で行われた表彰式に石見養護学校教諭松崎竜樹さんが出席されました。

「生徒数が減って作業ができにくくなっているが、学校内の活動ばかりでなく生活に密着した活動であり、できるだけ続けていきたい」と話されておりました。

この度の受賞が今後の活動継続の活力になればと思います。今後ともよろしくお願いたします。

この度「島根県立石見養護学校高等部園芸班」が平成26年から実施している、石見地域邑智病院付近、通称「絆ロード」の草刈り作業に対し、地域への貢献度が高いとの判断により表彰されました。



生徒が草刈り機を使い活動されている様子

赤い羽根共同募金(歳末たすけあい募金)

邑南町民生児童委員協議会との共催

一人暮らし高齢者の方などへ「おせち料理」をお届けしました。

12月31日(金)一人暮らし高齢者の方などを対象に「おせち料理」の配食を行いました。

この事業は、「赤い羽根共同募金(歳末たすけあい募金)」を財源に、邑南町民生児童委員協議会との共催事業として毎年行っています。

今年も鮮やかなおせち料理と心温まる絵手紙を添えて、188名の方に民生委員が一人ひとりのお宅に訪問しお届けしました。

皆さまが良い年を迎えることができるようお祈りし、一年の締めくくりを見守っていただきました。



第16回

邑南町総合社会福祉大会を開催しました!

昨年の11月18日(木)に第16回「邑南町総合社会福祉大会」をいきいきセンターみずほ(出羽公民館)にてコロナウイルス感染症予防対策として規模を縮小し開催しました。

表彰式典では、これまで邑南町社会福祉協議会の発展などに功績のあった方や多年にわたり在宅で介護し要介護者の在宅生活の維持向上に努められている介護者の方に対して邑南町社会福祉協議会会長表彰の贈呈が行われ、続いて邑南町老人クラブ連合会会長表彰として37名の会員の方々への表彰も行われました。



社会福祉協議会会長表彰

○「社会福祉事業功労者」受賞者

桑野 修

○「社会福祉事業協助者」受賞者

はすみまもるん隊・阿須那婦人会
阿須那小学校読み語りスクールサポート
矢上小学校読み語り・小学校読み語り
石見中読み語り会

○「在宅介護功労者」受賞者

岩本 守・洲浜 ユリエ
山田 留里子 (順不同/敬称略)



邑南町老人クラブ連合会会長表彰

「老人クラブ連合会役員」受賞者の方々

(順不同/敬称略)

氏名	役職	氏名	役職
藤本 雅治	前会長	三宅 正隆	前事務局長
南原 博文	前副会長	田中百合枝	事務局次長
甲村 方子	前女性委員長		

「一般功労者」受賞者の方々 (順不同/敬称略)

氏名	所属老人クラブ	氏名	所属老人クラブ
田中 静夫	雪田白寿会	佐々木勝國	井原福寿会
丸田 金時	市木寿会	藤本 利幸	中野親和会
松倉 豊	上田所長栄会	具路 一幸	中野親和会
洲濱 博典	上田所長栄会	矢上 登	中野親和会
三宅 弘和	小河内睦会	矢上 清子	中野親和会
香川 武人	小河内睦会	山崎 昌雄	中野親和会
網 信子	亀谷緑樹会	吉賀 光枝	中野親和会
森脇 信行	鱒淵睦和会	植田富志子	中野親和会
森脇 淑子	鱒淵睦和会	日野山照子	中野親和会
吉川 廣行	西鱒淵百寿会	小笠原静子	中野親和会
森田 愛代	西鱒淵百寿会	川中ユリコ	中野親和会
佐藤 勝	和田原総南会	上田 一宇	中野親和会
荒田 秀雄	和田原総南会	岸本 茂子	東部寿朗会
今田小夜子	高海冠寿会	上田 英明	西部寿朗会
大田 清藤	井原福寿会	白須クニ子	西部寿朗会
稲積 慎吾	井原福寿会	高橋 卓造	西部寿朗会



表彰式後には、邑南町役場総務課係長新屋聡士氏による「防災出前講座」を行いました。

気候変動と災害についてお話を聴き、その中で「自分の命は自分で守る」とありました。災害発生時を想定し「いつ・だれが・どう行動するか」あらかじめ決め、災害に備え自分のできることを、家族のできることを日頃から話し合い、取り組むことが大切であると感じました。

誰もが集える居場所 それが「コミュニティ・ボンズ」

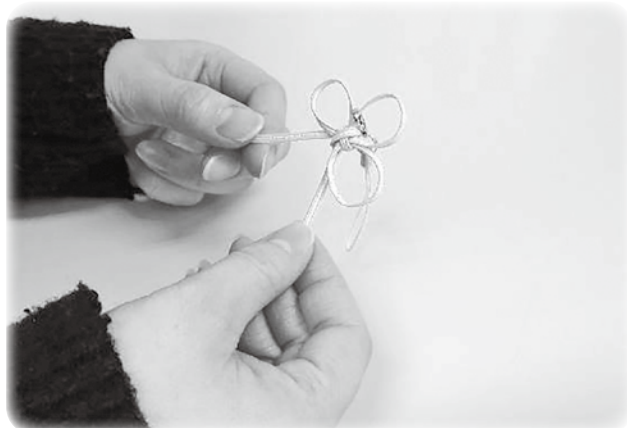
コミュニティ・ボンズとは…

誰もが（属性、性別、年齢など関係なく）気軽に立ち寄り、なんでも相談できる「場所」と趣味や余暇活動などで交流しながら楽しめる「空間」をみんなで作る取り組みを行っています。

邑南町社協西部サービスセンター相談室にて毎週1回（水曜日）午前中に活動をしています。



Citrus Ribbon
PROJECT



今年度は、コロナや地域社会に存在する様々な差別が解消されることを願い「シトラスリボン」をつくりました。「シトラスリボン」の輪の様に皆が繋がり、支え合うことが出来る地域づくりが進むように今年の「邑南町総合社会福祉大会」で啓発・募金活動を実施しました。

当日頂いた募金は、「赤い羽根共同募金」として協力しました。

これからも、地域社会の一員として、イベントや行事などに参加しながら貢献できる活動を行いたいと思います。ご協力とご支援をよろしくお願いします。

ボンズで行っている活動を少し紹介します!!



～令和4年寅の干支の飾りづくり!～
井原、中野、高原・布施地区社協の歳末交流会にて配布をしていただきました。ご協力ありがとうございました!



～みんなで焼きそば作り!～
交流活動や様々なイベントを通して、地域とのつながりや地域社会への第1歩を目標に活動を行っています。

「出来る人が」「出来るときに」「出来るだけを」
 自分にできることから始めてみよう!

535名が『ボランティアの日』の活動に参加!



つながる。広がる。ボランティアの輪



社会福祉協議会では、毎年11月11日から12月10日までの邑南町地域福祉推進月間にあわせて11月の第2土曜日を「邑南町ボランティアの日」と定め、それぞれの地域の環境美化活動を実施しています。今年度は、11月13日(土)を中心に、地区社協や自治会、ライオンズクラブ、老人クラブ、婦人会、スポーツ少年団、一般住民等のみなさまのご協力により、535名の参加がありました。

「ボランティアの日」の活動は、住民自ら進んで参加することで、さまざまな人と知り合ったり、共に助け合い協力することでつながりを助け、地域力の底力を高めていただく活動のひとつとなっています。ボランティアは自分にできることから始められる身近な活動です。社会福祉協議会では、この活動をきっかけにボランティアの輪が地域の中に広がり、誰もが安心して暮らすことができる地域となることを願い今後も推進していきます。



権利擁護支援員フォローアップ研修を開催しました!

令和3年12月12日(日)出羽公民館(いきいきセンターみずほ)で、『権利擁護支援員フォローアップ研修』を開催しました。当日は、25名の参加があり、講義やグループワークなどを通して、一人ひとりの権利を守ること(権利擁護)について学びを深める機会となりました。

今回は初めて資産運用の専門職、ファイナンシャルプランナーの講師をお招きし、身近な家計管理や生活設計について講義していただきました。受講者のみなさんは、自身の生活や日頃の支援を振り返り、新しい発見や気づきが沢山あったようで、「支援のときの勉強になったわ〜。」「対象者だけでなく、自分の家計に対する意識も高まった。」などといった声が聞かれました。



◆カリキュラム

時間割	時間	講座カリキュラム	講師
	10:00~ 10:15	オリエンテーション ・日常生活自立支援事業、法人後見、生活困窮の現状と支援員の活動状況 ・支援員へのフォローアップ体制について	邑南町 社会福祉協議会
1限	10:15~ 10:45	地域共生社会の実現に向けて ・成年後見制度利用促進の動向、町民後見人賛成に向けての動向 ・町内の困窮世帯や複合的な課題を抱える世帯への支援状況など	邑南町役場 福祉課
2限	10:45~ 12:00	後見活動の実際① ・身上監護と財産管理の具体的内容 ・その人らしい生活、自立に向けての支援員の役割など	相談支援センター えん 齊藤 健氏
3限	13:00~ 14:15	後見活動の実際② ・障がい特性に応じた関わり方 ・日常生活自立支援事業、成年後見制度における意思決定支援について	さかた社会福祉 事務所 阪田 健嗣氏
4限	14:30~ 16:00	ファイナンシャル・プランニングについて ・目標や夢を叶えるための総合的な資金計画について ・日常的な家計管理、家計簿のつけ方、家計の見直しについて ・意思決定を尊重しながら経済的な側面から実現に導く方法など	パインフィールズ パートナーズジャパン 合同会社 松原 智治氏

何らかの課題を抱え、当たり前の生活を送ることが難しい世帯が全国的に増加傾向にある今、邑南町が掲げる“一人もとりこぼさない”町づくりを実現していくためにも、そのような方に寄り添い、伴走した支援を行う担い手を増やすことが必要です。特別な資格や経験は必要なく、自分も地域のために力になりたいが何をすればよいか分からないなどと感じている方はぜひ権利擁護支援員活動を一緒にやってみませんか?興味がある方は下記までお問い合わせ下さい。

除雪対策 降雪に備えましょう!

社会福祉協議会では、役場福祉課と連携して「ひとり暮らし高齢者等に対する除雪の対策」について下記のような対応を考えています。また、各地区社協や自治会等では地域住民の「共助」による地域除雪システムが構築されています。

しかし、豪雪時には活動の担い手自身の行動が制限される可能性も高く、担い手の人材を確保することが難しくなることが予測されます。除雪の依頼を受けてから実際に作業に移るまでかなりの時間を要することと、緊急時に対応できることは限られています。いざという時のために、日頃から近隣住民と話し合い、緊急時の相互の助け合いの体制を整えておくことが必要だと考えます。

ひとり暮らし等高齢者に対する除雪の対策について

除雪場所		依頼先
町 道		役場建設課へ
生活道	町道から 自宅までの私道	①近隣相互の助け合いでの対応 ②集落・班・自治会での対応 ③地区社協等での対応 ④地区除雪ボランティアでの対応 (地域による)
		①シルバー人材センター (有料) ②業者等 (有料)
家屋周辺	自宅の裏側等 (家屋周辺の雪ずり)	①シルバー人材センター (有料) ②業者等 (有料)

お問合せ/社会福祉協議会 電話84-0332または、050-5207-5434

地区社協または地域における組織的除雪活動について

地区	除雪機設置状況	利用料
□羽地区	地区社協1台	有料
阿須那地区	あすな地区応援隊1台	有料
市木地区	地区社協1台	燃料代
田所地区	上田所自治会1台	有料
	四つ葉自治会1台	有料
	西鱒淵自治会1台	無料
出羽地区	出羽自治会5台	燃料代
高 原・ 布施地区	高海自治会1台	有料
	銭宝自治会3台	燃料代
井原地区	地区社協1台	無料
中野地区	地区社協1台	有料
矢上地区	大沢区1台	無料
	力沢区1台	有料
日貫地区	地区社協1台	無料
日和地区	地区社協1台	有料
町 社 協	3台(各センターに1台)	燃料代

*各地区によって、除雪機の設置状況や対象者、作業範囲、利用料等が異なります。詳細については、各地区社協や自治会等にお問合せ下さい。

除雪作業中の事故に注意!

除雪作業中の事故の要因として最も多い屋根からの転落事故のほか、転倒事故や除雪機による事故なども多く、作業をする時は注意をしながら行ってください。

■安全対策のポイント

●適切な服装、安全な装備で!

着ぶくれを避けて薄手で防水性のあるもの、手袋や靴は滑りにくく、防水性や防寒性のあるものを選びましょう。雪下ろしの際はヘルメットや命綱の装備を!

●作業は2人以上・携帯電話を身につけて!

●無理をせず、こまめに休憩、水分補給!

●落雪に注意!

屋根から雪が落ちてくる可能性があるため軒下の除雪作業は注意。晴れた日などのゆるくなった雪は特に注意が必要です。

●除雪機利用中の事故に注意!

雪が詰まった時は、必ずエンジンを止めましょう。素手で取り除くのは危険なため絶対やめましょう。



機構改革により新たな体制でスタートをし、9月より各センターの紹介をしてきましたが、最後は本部の紹介です。

センター紹介

本部

総務課



総務課では、法人運営全般を担っているのと同時に、職員の皆さんが生き生きと働ける環境づくりを行っています。また、他の法人との連携、邑南町老人クラブ連合会の事務局補佐等も行っています。

居宅介護支援事業課

住み慣れた自宅や住みたい場所で快適かつ主体的な生活を送っていただけることを目指して支援をしていきます。介護保険のサービスだけでは難しく地域の皆様の力がとても大きく一番の支え手になっています。これからもよろしくお願ひします。



福祉用具貸与事業

利用される方の自立支援や介護される方の負担軽減などを目的にベッドや車いす等の福祉用具の貸与・販売をしています。お気軽にご相談ください。



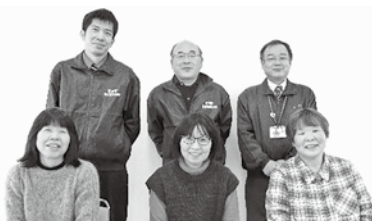
地域福祉課



誰もが安心して暮らせるよう、地域と共に「地域共生社会」を目指します。皆様との出会いを大切に、活動していきますので、ご支援・ご協力をよろしくお願ひします。

介護予防事業(楽々教室・配食サービス)

利用される方の「楽しかった」「美味しかった」の言葉が私たちの励みになっています。これからもよろしくお願ひします。



生活支援課



1人ひとりに「寄り添い」暮らしに安心感と生きがいを生み出せるよう伴走した支援に取り組んでいきます。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

寄付金のお礼

多くの方から、心温まる寄付金をいただきました。この寄付金につきましたは、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉推進事業をはじめとし、地域福祉推進（地区社協への助成等）の組織化及び活動の貴重な財源として活用させていただきます。心よりお礼申し上げます。

令和3年11月

【香典返し寄付金】

〔一般福祉事業へ〕

奥谷 小田 壽永 様
 皆井田 有田 伸司 様
 市木町 能美 恭志 様
 上伏谷 伊藤 博正 様
 吉時 井上 至 様
 朝原 沖 昭博 様
 明泉谷 服部千鶴子 様
 七日市 瀧桐 香 様
 坪木釜谷 小田 博之 様

【一般寄附金】

〔奨学資金事業へ〕

十日市住宅 皆川 隆 様

令和3年12月

【香典返し寄付金】

〔一般福祉事業へ〕

宮野原 野田 嘉彦 様
 段原 大屋 和男 様

〔奨学資金事業へ〕

鹿子原 小笠原 昭 様
 市木町 能美 恭志 様

七日市 西川 有二 様
 下亀谷上 田中 邦枝 様
 上茅場 服部 貞子 様
 日向西 野田 敏博 様
 根布 河野 博 様
 萩原(石見) 三宅 直美 様
 善教寺原 横山 忠廣 様
 安田 山本 雅彦 様
 上町 井上 信江 様
 小原迫 池本日出子 様
 生家 亀山久仁子 様

〔奨学資金事業へ〕

新町 三浦 幸 様
 三日市一 須瀆 義雄 様
 上原 上坪 町枝 様
 中組 丸山 博史 様
 下亀谷上 山本 義則 様
 須摩谷 高橋美貴子 様
 萩原(石見) 寺脇 克熙 様
 下大畑谷 日原 聖徳 様

ちよっとコーナー

明けましておめでとうございます。昨年は、多大なご支援をいただき、職員一同心より感謝いたしております。気持ちも新たに地域住民の方々のお役にたつよう努める所存でございます。

2022年は、60年周期で訪れる「壬寅(みずのえとら)」にあたる年とされています。「壬(みずのえ)」とは、ゆったりカブを描きながら流れる大河を表しています。加えて「決断」の意をもつ「寅」が合わさった2022年は、安定性や落ち着きを持ちながらも、はっきりと決断できる年。

心にゆとりをもち、おおらかに物事を見定めることができる年です。感染症の拡大が騒がれますが、今年も冷静さを失わずに行動できる年になるといいですね。

さらに、36年に1度の五黄の寅(ごおうのとら)と言われる年で、九星気学において最強の運勢と言われる「五黄土星」と、十二支の中で最も運勢が強いと言われる「寅年」が重なった「非常に強い運勢を持つ年」だそうです。

1月には第3回目のワフチンの接種も始まります。しかし、新たな変異株の感染等で油断できない時期ではございますが、今年が転機の年になるように願っています。

絵手紙の紹介

ボランティアさんの協力を得て、配食サービスのお弁当に月に一度、絵手紙を添えてお届けしています。季節を感じられる絵とメッセージが添えられています。11月、12月分をご紹介します。

協力ボランティアグループ
 「高原絵手紙文通サークル」

11月



12月

